



# 議長就任にあたって

陸別町議会議長 宮川 寛

去る四月二十一日告示となった陸別町議会議員選挙は、二十四年ぶりとなる新人対決の町長選挙の余勢を駆ったかのような戦いとなりました。八名の定数に対して十一名が立候補する結果となり、現職議員三人・元議員二人・新人議員三人が議席を得ることとなりました。

五月八日の初議会において議会の構成を行いました。議長選挙におきまして、私に再度議長の職を与えていただきました。

定数八名という小規模議会ではありますが、お互いの力量が十分に発揮できる環境をつくり、住民の負託に応えられる「活気のある充実した」議会運営になるよう微力をつくしたいと存じます。今後とも、尚一層のご指導とご鞭撻をお願いいたします。さて、国をあげて問題となってい

る「わが国の人口減少問題」は、地方にとっては今更の感がありますが、国は、今後地方への財政支援は「地方のやる気と本気度（向こう五ヶ年間の総合戦略）を見て決める」との財政抑制策を打ち出しました。

財政運営を地方交付税や補助金に依存している町村にとっては大変厳しい宿題であり、理事者も議会も今まで以上に「町の生き残りのため」に務めなければならないと思っております。

すでに、六月定例会では厳しい質問答弁のやり取りがありました。今後の議会活動について、これまで以上に公開し、町民の皆様との共有に務めたいと考えております。

末筆ながら、町民各位のご健勝を心からご祈念申し上げます。就任の挨拶といたします。

## 第2回臨時会

5月8日に、改選後の初議会となる第2回臨時会が開催されました。

議員の投票により議長・副議長の選挙が行われ、議長に宮川議員、副議長に本田議員がそれぞれ当選しました。

なお、議長選挙は得票数が同数となり、くじで当選者を決定しました。

常任委員の選任など、その他の議会の構成を決定し、専決処分承認3件、条例改正案3件、人事案件2件を可決し、閉会しました。

## 副町長の選任

佐々木敏治氏の再任に同意しました。

## 監査委員の選任

4月30日に任期満了となった河瀬洋美氏の後任に、陸別町大通の山本厚一氏を選任する案が提案され、同意しました。

# 議員の紹介



ほんだ まなぶ  
**本田 学**  
議席番号 4番  
無所属 当選2回



たご ゆうじ  
**多胡 裕司**  
議席番号 3番  
無所属 当選3回



くぼ ひろゆき  
**久保 広幸**  
議席番号 2番  
無所属 当選1回



なかむら かよこ  
**中村佳代子**  
議席番号 1番  
無所属 当選1回



みやかわ ひろし  
**宮川 寛**  
議席番号 8番  
無所属 当選5回



たに ゆうじ  
**谷 郁司**  
議席番号 7番  
日本共産党 当選4回



わたなべ みつよし  
**渡辺 三義**  
議席番号 6番  
無所属 当選1回



やまもと こういち  
**山本 厚一**  
議席番号 5番  
無所属 当選7回



**まめ辞典**  
議会の会議録を  
ご存知ですか？  
この広報誌は約3ヶ月間の議会活動を要約したものです。それとは別に、本会議の全ての発言を記録した「会議録」も公開されています。  
過去数年のものに限られますが、陸別町議会ホームページや陸別町公民館でもご覧することができます。

**第3回臨時会**  
7月22日に開催された第3回臨時会では、補正予算案2件、その他2件を審議し、それぞれ可決しました。  
**補正予算の主なもの**  
○教職員住宅の建設 4千395万円  
○水道工事調査設計委託料 248万円



# 6月定例会

陸別町議会 6月定例会は、6月24日から26日まで開かれました。今定例会では、平成27年度補正予算案5件、条例案2件、発議案2件、意見書案1件、その他3件を可決し閉会しました。

## 補正予算質疑から

○人事評価制度構築・導入業務委託料 390万円

Q どのような内容か。

A すでに国家公務員に導入されている制度が平成28年4月1日から地方公務員にも導入されるもので、職員自身が目標を設定し、自分と他者が評価する。

ノウハウを持った業者者に委託し、職員アンケート、管理職からの意見聴取、検討委員会の設置などを通じて制度の構築・導入を図る。

## まとめ辞典

○人事評価制度のねらいは？

職員間に格差をつけるための制度ではなく、「より良いまちづくり」や「住民サービス向上」につながる「人を育てる」ことを目指した、それぞれの自治体に適した制度の構築が求められています。

○小利別集会所から国道バス停までの歩道整備 1千332万円

Q 高低差に問題は無いのか。また、冬の除雪体制はどうするのか。

A 国道の高さにあわせ盛り土が必要となるが、高低差はそれほど無い。除雪については、シヨベルが通れる幅で歩道が整備されるので、地域の方に作業をお願いできないかを含め、協議していきたい。

○JA陸別町優先出資精算金 1億円

Q JAから出資金が返還されるが、酪農は基幹産業であり、大型事業も予定されているので、新たに優先出資をするべきでは。

A ご意見として承り、ほかの事業者との公平性にも留意しながら、要請があれば前向きに検討したい。

## 平成27年度 各会計補正予算

会計名	補正額	総額	
一般会計	4億5,573万円	42億4,630万円	
特別会計	国保事業勘定	3万円	4億5,221万円
	国保直診施設勘定	422万円	4億3,318万円
	簡易水道事業	3,150万円	2億3,287万円
	公共下水道事業	1,770万円	2億2,167万円

○緊急雇用対策費委託料 2千186万円

Q 季節雇用者等の雇用対策事業としていますが、今年度予算の内容は。

A 委託契約の単価は、軽作業の8千400円から機械作業の1万3千300円までの4区分となっており、対象者は66人を見込んでいます。

また、委託できる日数を一人25日までから、30日に拡大した。

これまでに道路管理の小規模な作業、町道の支障木の整理、町有林の枝落としなどを委託しており、今年度はチェーンソーを使用する作業を予定している。

## 主要事業の概要

畜産クラスター事業補助金（バイオマス活用推進事業） 200万円

陸別町酪農・畜産クラスター協議会が実施主体となり、陸別町内におけるバイオマスエネルギーの活用を調査する事業。農家アンケート調査、家畜排泄物、生ごみ、エゾシカ残渣等の利用モデルの作成、先進事例の調査などを行う。

# 一般質問

6月定例会では4人の議員が一般質問を行い、町政を問いました。その内容を要約して掲載します。

久保広幸 議員

## 地方版総合戦略の策定に向けた本町の取り組みは

**Q** 地方創生に向けた国  
の交付金事業である地  
方版総合戦略が来年度から  
本格的に実施されるが、計  
画策定にあたっては、どの  
ように取り組んでいくのか。

(野尻町長)

**A** 平成31年までの5カ  
年間の計画を今年10月  
までに策定する。住民代表  
や産業界などの団体が構成  
する陸別町地方版総合戦略  
検討会の中での意見や提言  
を踏まえていくこととした  
い。議会には、つご説明し、  
町民にも広報等でお知らせ  
する。

**Q** 先行型のプレミアム  
商品券など今年度です  
で予算化されている事業も  
あるが、次年度以降どのよ  
うな事業に取り組んでいく  
のか。

防災を目的とした未立木  
地民有林の公有化、家畜糞  
尿によるバイオマスエネルギー

ギー施設の整備をしてはど  
うか。

(町長)

**A** 策定された総合戦略  
に基づいて事業を実施  
していくことになるが、効  
果・結果が求められており、  
期間を要するものから始め  
たい。

ご提言の2件について、  
ハード事業については、国  
からこの事業の対象外であ  
ると聞いているが、町の政  
策として研究していくこと  
としたい。

## 人工透析患者への 通院支援について

**Q** 人工透析治療患者に  
対し、福祉有償運送事  
業の円滑な運営、または、  
総合戦略の交付金を活用し  
た新たな移送事業の創設に  
より安心して通院できるよ  
う支援できないか。

(町長)  
**A** 社会福祉協議会が行っ  
ている福祉有償運送事  
業の見直しについて、本人  
負担の軽減を含め検討し、

今年中に実施したい。

本田 学 議員

## 給食事業の現状と 今後の取り組みは

**Q** 給食事業が開始され  
たが、子ども達の反応  
など現状をお知らせ願いた  
い。

(野下教育長)

**A** 美味しいとの感想で、  
給食を楽しみにしてお  
り、嫌いだった食材も食べ  
ることができるようにつ  
なっている。  
残食は、平均10%程度で、  
少ない状況である。食物ア  
レルギーは、保育所、小、  
中学生合わせて5名おり、  
適切に対応している。

地域試食会の開催や  
地域給食の日として、  
地元や学校で栽培している

**Q** 「りくべつらしい給  
食」、「日本の給食」  
のため、今後どう取り組む  
のか。

(教育長)

**A** 地域試食会の開催や  
地域給食の日として、  
地元や学校で栽培している

野菜を活用した給食の提供  
を予定している。  
将来は、加工センターの  
畑を活用した野菜作りの授  
業を行い、食育と関連づけ  
ていきたい。

## 陸別町独自の 教育システム構築を

**Q** 児童、生徒数の減少  
に伴い、教育環境も変  
化している。陸別町の将来  
を担う子ども達、人口減少  
対策のためにも独自の教育  
システムを取り入れていく  
必要があると思うが、考え  
を伺う。

(教育長)

**A** 中学生の土曜日の過  
ごし方として、10回の  
正規授業の方法を試行する  
ことにした。カナダからの  
英語指導助手を招くほか、  
今後もふるさと教育やキャ  
リア教育などを通じて地域  
全体で子育てを行っていき  
たい。

また、山村留学等の現状  
について、調査を行い可能  
性を研究したい。

# 一般質問

渡辺 三義 議員

## 小利別地区の環境整備を

**Q** この度の補正予算で、小利別集会所から国道まで約40mの歩道が整備されることになった。

小利別―北見間の高規格道路が開通することにより小利別沿線を通過する車両の増加が見込まれる。歩道として整備する箇所を車道にし、合わせて多目的トイレや公園を整備することにより生活環境の向上や地域活性化を図ってはどうか。  
(町長)

**A** 地域住民からの要望により歩道整備の予算を計上しており、車道の件については、国、道と協議した経過はない。歩道の完成、高規格道路開通後の動向等を見極めながら住民が生活しやすいように考えていきたい。



◀ 小利別集会所付近の現況



## 道の駅の改修計画は

**Q** オーロラタウン<sup>93</sup>は、観光、物産の発信基地として重要な施設であるが、トイレの洋式化、大型車両駐車場などの整備計画はどのようになっているのか。  
(町長)

**A** 22年経過した施設であるが、現時点で、大規模改修は考えていない。今年度は雨漏りのため、屋根等の改修を行う予算を計上した。次年度以降、トイレ改修、照明のLED化、ボイラー、受電装置の更新

等を考えている。

駐車場整備を含め、交流センター運営会議等と協議して進めていきたい。

谷 郁司 議員

## 町政懇談会の実施を

**Q** 地域での町政懇談会が開催されなくなりましたが、町民の多様な要望、意見を聴き、町政に反映させるべきである。

町政執行方針等の報告や協力依頼をかねて、自治会、団体等との懇談会を再開すべきでは。  
(町長)

**A** 懇談会は、出席者の減少により取りやめ、自治会長会議でご意見をお聞きし、個人のご意見に対しては、広報りくべつの「町民から提案します」のコーナーで回答を掲載している。

今後にあたっては、現在幅広く意見を聴くための手法を検討している。

## 給食センター運営委員会の規定方法について

**Q** 給食事業の運営に重要な役割を持つ運営委員会については、給食センター条例において、おくことを明記すべきでは。  
(教育長)

**A** 必ずしも条例の条文に記載しなければならぬものではなく、規則で規定することにした。条例の提案権は町長にあるが、検討したい。

## 住宅リフォームへの助成を

**Q** 民間活用住宅建設事業について、リフォームも対象に拡大し、住環境整備と雇用安定を図る必要があるのでは。

また、恒久化するため、要綱ではなく、条例規定とすべきと考えるが。  
(町長)

**A** 民間活用住宅建設事業は、平成16年から行っており、これまで、55戸が

# 一般質問

建設され、1億4千7百万円ほどを助成している。リフォームに対する助成については、対象工事や補助金額等について検討中であり、実現させたい。

条例化については、意見として参考にさせていただく。

## 再生可能エネルギー事業推進条例の設置に向けて

**Q** バイオマス未活用エネルギー事業調査委員会設置要綱と住宅用太陽光発電システム導入補助金交付要綱を整理統合し、条例化のうえ、再生可能エネルギー施設の設置に向けていく必要があるのでは。

(町長)

**A** バイオマスについては、平成14年から15年にかけて委員会を設置し、事業化に向けた検討がされたが、場所、事業費等の問題で実現しなかった。

個人の太陽光発電設置事業については、平成24年度から行っており、4件助成

している。この2つの事業については、性質が異なるので、要綱の統合は困難と考える。

再生可能エネルギー施設については、将来的に研究していきたい。

## 日産自動車購入助成事業について

**Q** 助成当時から比べる経済情勢も変化してきており、この制度を廃止する考えはないか。それに変わる措置として小利別地区学校跡地に日産住宅などの建設を検討してはどうか。

(町長)

**A** 平成21年度から、これまで85台分の助成を行っているが、日産試験場誘致における財政効果も高く、当面この事業は継続したい。平成30年頃を目処に関係する商工会と見直しを含めた協議を行うことを考えている。



## 条例・その他の審議結果

件名	審議結果
<b>第2回臨時会 (5/8)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 専決処分の承認を求めることについて (町税条例等の一部改正)</li> <li>● 専決処分の承認を求めることについて (平成26年度 一般会計 補正予算)</li> <li>● 専決処分の承認を求めることについて (平成26年度 国保会計 補正予算)</li> <li>● 陸別町国民健康保険条例の一部を改正する条例</li> <li>● 町税条例等の一部を改正する条例</li> <li>● 陸別町国民健康保険税条例の一部を改正する条例</li> </ul>	可 決 可 決 可 決 可 決 可 決
<b>6月定例会 (6/24~6/26)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について (トラリ・薫別)</li> <li>● 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について (トママ)</li> <li>● 陸別町過疎地域自立促進市町村計画の一部変更について</li> <li>● 陸別町子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例</li> <li>● 陸別町介護保険条例の一部を改正する条例</li> <li>以下議員発議</li> <li>● 陸別町議会会議規則の一部を改正する規則</li> <li>● 議員の派遣について [議員研修会 (札幌市2件、帯広市、土幌町)、札幌陸別会総会]</li> </ul>	可 決 可 決 可 決 可 決 可 決 可 決 可 決

**札幌陸別会に出席して**

報告者 **山本厚一**

谷 郁司

7月11日(土)、札幌のホテルにて第34回総会が開催され、陸別から7名が出席しました。田中博信会長(元陸別小学校教員)が「新しい陸別の時代を築いて欲しい」と述べられ、野尻町長からは今後の町づくりへの抱負が語られました。



話題を2つ提供しますと、1つ目の「8月8日は北海道の笑いの日」という話は医師の



伊藤一輔先生(昭和37年卒)からで、「笑うと寿命は100歳となる」とのこと。2つ目は、川曲寛子先生(旧

姓中村、昭和44年卒)が顧問の札幌琴似工業高校定時制演劇部が、定時制としては46年ぶりに全国高校演劇大会の北海道代表になったそうです。

最後には盆おどりがあり、再会を楽しみに、お開きとなりました。企画していただいた方々に感謝申し上げます。

**総務・産業  
常任委員会報告**

7月15日、所管事務調査により、委員会合同で給食センター、加工センター、薬用植物栽培、関寛斎墓碑、小利別集会所、旧小利別小学校跡地、計6か所の視察を行いました。

議員改選により中断されていた委員会活動が本格的に始まりました。

今後引きつづき調査・研究することになっています。



**議会の動き**

**【5月】**

1日 初議会運営協議会  
8日 第2回臨時議会  
議員協議会

総務常任委員会  
産業常任委員会  
議会運営委員会

**【6月】**

23日 議会運営委員会  
24日 6月定例会  
議員協議会

総務常任委員会  
産業常任委員会  
6月定例会  
議会運営委員会

**意見書案**

6月定例会で1件を可決し、関係機関へ、その実現を要請しました。

○所得税法第56条及び関連条項の見直しを求める意見書

**【7月】**

7日 議員研修(札幌市)  
11日 札幌陸別会総会  
(議員派遣)

15日 常任委員会合同所管事務調査(町内視察)  
22日 議会運営委員会  
第3回臨時議会

次回の定例会は9月に開催されます。  
詳しい日程等は議会事務局にお問い合せ願います。  
皆さんの傍聴をお待ちしております。

**町民の声を議会に**

請願(陳情)は国や町などに対しての要望を文書で提出するもので住民の権利として保障されています。詳しくは議会事務局にお問い合せください。

**陸別町議会  
ホームページ  
のご案内**

一般質問の録音を聞いたり、会議録などの閲覧ができるようになりました。

【陸別町議会ホームページ】  
<http://www.rikubetsu.jp/gikai/>